

# 絵図地図でたどる 高知市の歩み

おおわきやすひこ

講師

大脇保彦さん 高知大学名誉教授

戦国時代を通して、城郭を核に侍の専住区と町人集住区が取り巻くようプラン化された城下町が各地に出現、その多くはわが国近代都市の母胎となりました。高知市も、戦国期には、長宗我部氏が岡豊から大高坂山を経て浦戸に移り、その後、土佐に入国した山内氏が慶長年間に大高坂山に城を築いて城下町を形成して以来、土佐の政治、経済、文化の中心地として発展してきました。

市制の施行は1889(明治22)年であり、以後、幾度かの合併を経ながら市域を拡大し、近代都市の姿を整えてきました。

また、幕末維新时期には多くの人材を輩出した場所でもあります。

こうした高知市の歩みを、絵図地図を紹介しながらたどってみます。

## ▼プロフィール

高知市出身 1933(昭和8)年生まれ。

京都大学文学部大学院修士課程終了。

専修大学を経て、高知大学教授。

1996(平成8)年退官。

以後、土佐女子短期大学教授、高知市史編さん委員長などを歴任。高知市史編さん委員会絵図地図部会長として『描かれた高知市 高知市史絵図地図編』を編集。高知県の歴史地理、郷土地誌の研究を進めた。

## ▼講演に関連する論文

- ・「土佐の条理－その復原再考と補説－」  
『高知の研究2』1982年
- ・「土佐国絵図について－元禄国絵図を中心とした若干の検討－」  
『高知大学学術研究報告 40 人文科学』1991年
- ・「歴史的景観と読図－街に埋もれた城下町」  
『地理』42巻6号 1997年
- ・「高知城下町プランに関する課題」  
『土佐史談』212号 1999年
- ・「高知城下町絵図について－歴史空間の情報源としての吟味と課題」  
『土佐女子短期大学紀要』8号 2001年
- ・「土居と土居町の研究をめぐって－土佐の歴史地理学研究史の一こま」  
『土佐女子短期大学紀要』9号 2002年
- ・「高知・松山の路面電車の過去・現在・未来」  
『地図情報』88号 2004年

●2017(平成29)年 10月28日(土) 午後2時～4時

●高知市立自由民権記念館 民権ホール

高知市棧橋通4丁目14番3号 ※入場無料・駐車場あります

申込  
不要

主催 高知近代史研究会 高知市立自由民権記念館

《連絡先》高知近代史研究会事務局 電話：088-831-3336(自由民権記念館2階 学芸)